



すずしろ

～開拓・発展・完成～

12月第10号

平成29年12月25日

開進第四中学校だより

校長 新村 紀 昭

2 学期終わる

練馬区中学校駅伝大会の成果から

いよいよ今年も残すところ一週間となり、明日から14日間の冬休みが始まります。

さて、今年には本校にとって特別な一年でした。まずは、昨年の新校舎完成に続いて校庭が完成し、実に4年ぶりに本校校庭で運動会が開催できたことです。運動会当日はあいにくの天候で急きょ予定を変更しての実施となりましたが、それも自校の校庭が完成したからこそできたことです。そしてもう一つ、うれしい出来事がありました。それは今年度の「第16回練馬区中学校駅伝大会」において男子・女子ともに優勝し、駅伝控え選手による「個人走」でも男子・女子ともに第1位（男子は第2位まで）を獲得したことです。

この「駅伝」は日本発祥のスポーツで、80年以上の歴史があるといわれています。現在は「EKIDEN」として、国際大会も開催されるほどの人気競技です。駅伝は長距離走と同じように他の選手と駆け引きをしながら1人で走りますが、タスキを引き継ぎリレー形式で走るの、「自分の走りで、所属チームの順位が上がる（下がる）かもしれない」という自覚と責任が問われます。タスキという「絆」によって結ばれたチームスポーツだと思えます。そして、チームスポーツとして「駅伝」を見た時、この完全優勝の背景には、ここに至るまでの本校独特の歴史があるように思うのです。上級生の皆さんは覚えていると思いますが、今からちょうど1年前は、校庭は改修工事のため全く使えませんでした。そして、さらに新校舎建設中、仮設校舎で生活した2年間は、校庭も今の半分以下の広さで部活動も十分にできない状況でした。そうした悪条件の中、本校はオリンピック・パラリンピック推進校としての指定を受け、取組の一つとして毎朝30分の「朝の体力づくり」の活動に取り組み始めました。この活動は運動不足の解消や体力向上を目指す生徒なら誰でも参



加できるので、陸上部の生徒に限らず実に様々な生徒が参加するようになりました。特に「校内マラソン大会」前の約1ヶ月間は、例年50名を超える生徒が毎日練習に参加し、校庭が全く使えなかった昨年度も都立城北公園の一部を借りて走り続けました。マラソン大会が終わった後も、部活動も含めて体力を向上させようとする姿、自分の弱さと戦い精神力を高めようとする姿がありました。それはあたかもお互いに切磋琢磨し心身を「鍛える」一つのチームでした。この数年間の取組を見てくると、今回の完全優勝という成果は、駅伝大会を走った生徒の結果というだけでなく、数年にわたり「朝の体力づくり」に参加し、走り続けた卒業生をはじめとする多くの生徒、そして朝早くから君たちを学校へ送り出し、校内マラソン大会では城北公園で、区駅伝大会では光が丘公園で監察係等になって行事を支えてくださった保護者や地域の方々のおかげだと言えるのではないのでしょうか。

ある校長先生は「走る姿勢が違う」と言われました。それは「毎日30分」の積み重ねがもたらした体力であり、集中力、精神力だと思います。これからも新たな伝統として「朝の体力作り」に取り組み、豊かな自己実現に向けて、自らを鍛え、自らの目標に向けて様々な活動に積極的に取り組んでほしい。まずは充実した冬休みにしてください。

保護者・地域の皆様。本年も本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

開四中のキャリア教育

本校では、生徒の豊かな自己実現に向けて、3年間にわたりキャリア教育の4つの能力（人間関係形成・社会形成能力・情報活用能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力・キャリアプランニング能力）の育成を図っています。

<第1学年 社会福祉施設体験>

第1学年では、様々な人と関わり、人間関係を深めることをとおして、思いやりの心やコミュニケーション能力を高めるために、地域に点在する施設の協力を得て、社会福祉体験活動を実施しています。生徒は高齢者の方たちとのふれあいを通して高齢化社会やボランティア活動など多くのことを学んでいます。

◆高齢者の方は一人一人様々な問題を抱えていて手が不自由だったり話すのが少し苦手だったりします。そんな時、今までは少し困っていましたが。でも今回の体験をとおして少し大変でも相手が楽しくなれるように一人一人の問題に優しく対応し、心を支えられるようにする、ということを学びました。今までは困ってしまっていて相手に嫌な思いをさせてしまいましたが、一人一人に優しく対応し心を支えられるようにすれば少しでも楽しくなれると思いました。これからこのことを忘れずに、ボランティアなどにも参加したいです。(A組 竹村遥音)

◆最初に社会福祉施設体験があると聞いた時、大変そうだと思います。あまり楽しみにはしていませんでした。しかし、施設に行ってみると、とてもスタッフの方も優しく施設もきれいで、高齢者の方々もみんな優しい人ばかりでした。カルタをしている時もおやつを食べている時も高齢者の方はみんな楽しそうで、活動する前に福祉施設がとても身近に感じました。今回の学習をとおして自分が頑張ったことを喜んでくれた時のうれしさやボランティアの楽しさ、笑顔を見られることの素晴らしさを感じることができました。今回の経験をボランティアだけでなく高齢者の方々との交流の際や人との交流の際に生かし、2年生の職場体験や2、3年の校外学習、修学旅行の際に、自分も人も楽しめる企画ができるように頑張っていきたいです。(B組 菅野百花)

◆社会福祉体験では初めての経験がたくさんありました。一つには一言ずつ大きな声ではっきりとしゃべらないと伝わらないという難しさ。話がリピートしてしまうこと。色々大変なことがあったけれど、レクリエーションやおやつを配った後に「ありがとう」などの感謝の言葉をいただき、とてもうれしくやりがいを感じました。今回の体験で人のかかわり方や思いやりの心を改めて学ぶことができました。この経験を生かして色々なことにつなげていきたいです。(C組 原田桜希)

◆僕は、始め社会福祉施設は暗くてどんよりした所だと思っていました。しかし、実際行ってみると思っていたものとは全く別で、入居者の方たちが楽しくおしゃべりをしてスタッフと楽しく過ごし、施設にいる人たちが協力し合っていてとても驚きました。僕は体験に行った時緊張して何も話せませんでした。入居者の方が話しかけてくれて、徐々にコミュニケーションをとれるようになりました。入居者の方は自分たちより何十年も先輩で話していく中で昔の練馬の姿や年を取ると嫌なことなどたくさん話してくださいました。また、スタッフの方も入居者の一人一人をはっきりと覚えていて、毎日きれいに掃除をしたり介抱したりするなどスタッフの苦勞のおかげで施設が成り立っているのだと感じました。自分たちの行動で入居者の方達が喜んでくれて、とても楽しい機会でした。(D組 生出 直己)



平成 29 年度 福祉施設体験先一覧

グループホームゆりの花 羽沢・特別養護老人ホーム育秀苑・特別養護老人ホーム第2 育秀苑
社会福祉法人 小茂根の郷・平和台介護老人保健施設 平和台アバンセ・介護老人保健施設 ミレニ
アム桜台・介護付有料老人ホーム グランフォレスト氷川台・介護付有料老人ホーム ウェルケアテ
ラス氷川台・ほっと氷川台デイサービスセンター・デイサービス 遊宴桜台
メディカルホーム くらら練馬桜台

ご協力ありがとうございました

<第2学年 上級学校訪問>

第2学年では、よりよい進路選択をするための準備として、上級学校訪問を実施しています。生徒は多様化した上級学校について学習し、電話で訪問を予約したり、自分たちだけで学校を訪問して情報を集めたりする体験をとおして、進路への意識を高めています。

◆この上級学校訪問で今までと高校に対する考え方が変わりました。今まではもっと校則が厳しくて、先生も怖いというイメージがあったけれど、今回の体験で校則は特になく、自立や先生も生徒をサポートしていてとても興味深く思いました。何よりも生徒の皆さんが自主的に先生や上級生に勉強を教えてもらっているということに驚きました。私はまだ勉強を頑張ることができません。だから図書室や自習室で勉強している姿に驚きました。（都立竹早高 A組 寺川和輝）

◆私は日本ウェルネスのペット専攻の学校に行き驚いたことが二つあります。一点目はヘビを持ちたり首に巻いたりしたことです。人生で初めてのことでドキドキしました。二点目はサルにバナナをあげたことです。サルがキーキー鳴いてとても興奮していてバナナをやるのがとても怖かったけれど、バナナを差し出したら、優しく手で取ったのでとてもかわいかったです。私は今まで進路を考える時、単位制の学校や専門学校などが視野に入っていなかったため、この機会にこうした学校も視野に入れて進路について考えたいです。（日本ウェルネス高 A組 船場結衣）

◆私は産業技術高等専門学校色々なことを学びました。中でも1番興味をもったのは私たちの学校でいう技術科室が工場となり一つ一つの機具が大きかったことです。そして指一本に鳥のくちばしを載せてバランスがとれる紙も印象的でした。そして進路について、「どうしたらこの大学に行けるか」や「五期制」ということもよく分かりました。（産業技術高専 A組 木村愛花）

◆私は見学に行って、英語が話せるようになるために、実際にどんどん使っていくという学び方がとても興味深かったです。授業の中でノート見開きに英語で自分の意見を書くということにもびっくりし自分もやってみたいと思いました。また、海外に出て勉強できたり、世界中の生徒と交流する世界教室というものがあつたり、とても興味深かったです。日本にいるとなかなか本物の英語に触れて学べる機会は少なく、今回見学に行き、実際に触れて学べることを知りとても感動しました。

（関東国際高 B組 岡 俊輝）

◆初めて学校に着いた時に入口も分からなく困っていた私たちに「どうした？」と声をかけてくださった第四商業の生徒の方でした。そのまま校舎に入り教職員の方を連れてきてくださり、一気に緊張がほぐれリラックスできました。そして何よりも驚いたのが案内して下さった際の校舎の広さです。最初に質問させていただいた部屋の広さと机の数もすごく印象に残っています。そしてパソコン室での学習の仕方が中学とは違って驚きました。武道場が広がったことも印象に残っています。（都立第四商 B組 島村尚希）

◆私は正直に言って、貞静学園高等学校が第1希望ではありませんでした。しかし事前学習や高校の先生からの話を聞いて、この学校に行きたくなりました。訪問の中で聞いてよかったと思うことは、保育士になるためにやった方がよい教科です。わたしはそれほど国語科が得意ではないので、

今から頑張りたいと思います。学校を案内していただいた時、生徒の方たちが面白いし、優しそうだったので緊張もほぐれ、私が思っていた高校のイメージとは違いました。

(私立貞静学園高 C組 西山媛乃)



第16回練馬区中学校駅伝大会 完全制覇おめでとう！

12月2日(土)快晴の空の下、都立光が丘公園陸上競技場で区立中全34校が参加して、駅伝大会が開催されました。本校は男女各2チームがエントリーして男女ともAチームが優勝しました。また、駅伝で走れなかった控え選手が走る個人走(1周)では男子が1、2位、女子が1位となり4タイトルを掴みました。本当におめでとうございます。PTA役員ほか総勢16名の保護者ボランティアの方にも参加していただきました。応援してくださいました保護者・関係者の皆様、本当にありがとうございました。

□ 駅伝大会結果 (女子41チーム 男子51チーム)

- ・女子Aチーム 第1位 安藤穂乃花・中原 露・青木真琴・多田あさひ・松平美優・町田七風
- ・女子Bチーム 第24位 野口夏暖・北原麻衣・金内あずさ・尾本春楓・富田心乃・松館彩月
- ・男子Aチーム 第1位 藤田啓佑・大塚 章・宮野滯大・印南佐助・田中 純・澁谷恵斗
- ・男子Bチーム 第35位 長倉圭斗・一戸宇太郎・岩沢奏空・水田悠斗・安藤絢翔・松田翔太
- ・個人走 <女子>第1位 鈴木花梨 <男子>第1位 鈴木 響 第2位 岩田惇平
(タイム 女子Aチーム 53'15 男子Aチーム 45'40)



☆部活動大会結果 躍動する開四中生！！

- 野球部 ナインカップ予選リーグ 篠崎二中(江戸川) 7-0 開四中 扇中(足立) 2-9 開四中
- サッカー部 東京都新人大会第3ブロック予選 1回戦：中野三・十中合同 1-3 開四中
代表決定戦：石神井東中 2-0 開四中
- バレーボール部 練馬区民大会 予選：北町中 0-2 開四中 大泉中 0-2 開四中
準々決勝：大泉北中 1-2 開四中 準決勝：大泉西中 2-0 開四中
3位決定戦：三原台中 0-2 開四中
- バドミントン部 第11回バドミントン中学1年生大会
ダブルス女子 斉藤あかり、林桃子 ベスト8 杉橋芽衣、藤原千陽 ベスト8
- 陸上部 第70回東京都中学校駅伝競走大会
男子の部 藤田啓佑・大塚 章・澁谷恵斗・田中 純・宮野滯大・鈴木 響 8位 1"00'38
第70回練馬区民大会駅伝 女子の部 優勝(タイム 36'50) 安藤・松平・町田・青木
男子の部 優勝【3連覇】(タイム 30'25) 藤田・大塚・澁谷・宮野